

# 日本の中学校教員の満足度

## — OECD 国際教員指導環境調査 (TALIS) 結果から —

森田 玉雪 山本 公香

### Teachers' Job Satisfaction at Junior High Schools in Japan — From the Teaching and Learning International Survey (TALIS) —

MORITA Tamaki YAMAMOTO Kimika

#### Abstract

This study evaluates teachers' job satisfaction using the OECD Teaching and Learning International Survey (TALIS) conducted in 2013. We analyzed the relationship between their level of job satisfaction and working hours in all countries and specifically in Japan, Korea, Sweden, Mexico and the United States, inputting a sufficient number of control variables from TALIS. The pooled data suggests that the content of their tasks rather than working hours plays a key role in determining teachers' job satisfaction. In Japan, we found that the longer their working hours, the lower their satisfaction level. This is in contrast to other four countries.

キーワード：教員満足度、国際教員指導環境調査 (TALIS)、国際比較

key words : International comparison, Teachers' job satisfaction, Teaching and Learning International Survey (TALIS)

#### 1. 問題の背景と研究の目的

前期中等教育段階（中学校及び中等教育学校前期課程、以下簡略化のため中学校と称する）の教員の労働環境について、OECDが2008年と2013年に国際教員指導環境調査（Teaching and Learning International Survey, TALIS）を実施した。日本は2008年の初回調査には加わっておらず、2013年に初めて参加したところ、日本の教員の勤務時間は参加34か国・地域中もっとも長いことが明らかとなった。国内では従前から教員の多忙さが喧伝されてきたが、国際比較の結果からもそれが裏付けられたことになる。

日本の教員の勤務時間の長さは、政府の答申や様々な調査で指摘されている。<sup>1)</sup> そのため各地方

自治体においても教員の業務負担の実態把握と改善のための取組が行われている。例えば、栃木県では教員の多忙感に関するアンケート調査を行い、その結果と市町教育委員会や校長会などから求めた実践例や提案を冊子<sup>2)</sup>にまとめたり、北海道では時間外勤務短縮のための事例集<sup>3)</sup>をHPに公開したりして、業務の見直しや改善に取り組んでいる。

このような取組にも関わらず、日本の教員の勤務時間は2013年TALIS調査<sup>4)</sup>（以後TALIS 2013と称す）の結果、参加国・地域中で最長であるのみならず、授業以外の業務負担が大きいことが分かった。週53.9時間に及ぶ勤務時間のうち授業に割く時間は週17.7時間に過ぎないので

---

山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科

Department of Glocal Policy Administration, Faculty of Glocal Policy Management and Communications, Yamanashi Prefectural University

山本 公香：政策研究大学院大学 教育政策プログラム

Education Policy Program, National Graduate Institute for Policy Studies

ある。勤務時間がもっとも短いチリの教員が週29.2時間の勤務時間のうち週26.7時間を授業に割いていることと対照的である。

日本における授業以外の業務負担の重さも、過去の実態調査によって示されてきた。2006年に文部科学省が実施した『教員勤務実態調査<sup>5)</sup>』によれば中学校教諭の一日あたりの時間外勤務は約2時間である。業務内容と配分は「児童生徒の指導に直接かかわる業務<sup>6)</sup>」と「児童生徒の指導に間接的に関わる業務<sup>7)</sup>」が約9割で、勤務時間の大半が児童生徒への対応で占められている。そのほかに「学校の運営にかかわる業務及びその他の校務<sup>8)</sup>」、「外部対応<sup>9)</sup>」がある。これらに、個人差はあるが、休日の時間外勤務や持ち帰りの仕事時間が加わる。

また、2013年には青木他により『2006年度文部科学省「教員勤務実態調査」以後における教員の労働時間の変容<sup>10)</sup>』が報告された。この調査によれば、2006年度調査以後教員の勤務時間の縮小が行われたものの、その分時間外勤務が増え、教員の労働時間は実質的に短縮されていないことが確認されている。さらに、ベネッセ教育総合研究所(2010)によると、中学教員の場合、学校にいる時間は一日約12時間、持ち帰りの仕事時間はやや減少しているが、休日の出勤日数は月に4.5日、運動部顧問となれば月に5.1日となっている。

多忙を極める勤務状況について、日本の教員はどのように感じているのであろうか。いくつかの先行研究からは、日本の教員が長時間勤務という劣悪な労働環境のなか、「教育への情熱」という働きがいをエネルギーにしていることが窺える。たとえば、玉置他(2012)では、教員は労働時間や業務負担について強い不満をもちながらも、きわめて高い内発的働きがい<sup>11)</sup>をもって働いているという報告がされている。この内発的働きがいには、教育という仕事に対する「夢の実感」、「私という存在は児童・生徒たちから必要とされている」ということが強く影響を及ぼしており、「教育のため、子どもたちのためになる」と感じられれば働きがいが高まるとしている。<sup>12)</sup> また、赤井

他(2013)によれば、教員は教師力向上とともに子ども、保護者、上司や先輩などからの信頼を得、それが教員自身に還流し「教育への情熱」を醸成するもととなっている<sup>13)</sup>と報告している。ただし、筆者らのTALIS 2013分析結果から国際比較すると、日本の教員の主観的満足度は相対的に非常に低い(本稿2.2項参照)。したがって日本の教員は、長時間勤務も含めて、総体としては不満を抱きつつ、「働きがい」、すなわち「教員として働くことの満足度」を感じながら働いているものと推察される。

本稿では、TALIS 2013の結果をもとに、全調査対象国における教員の満足度の決定要因を探るとともに、日本と同様に満足度が低い韓国、リースクールや地方分権の自由な教育が注目されていたがその効果が疑問視されているスウェーデン、教員満足度がやや高い米国、教員満足度が最も高かったメキシコの結果と日本の結果を比較し、今回のTALIS 2013で特徴的となった長時間勤務が満足度に与える影響について考察する。

## 2. 分析手法とデータ

### 2. 1. 分析手法

本稿では、TALIS 2013を利用して、教員の満足度の決定要因を探る。 $J$ 国における教員 $I$ の満足度を効用 $U_{ij}$ とし、TALISのほかの設問から要因となりうる項目を選び

$$U_{ij} = f(x_{1ij}, x_{2ij}, x_{3ij}, x_{4ij})$$

であるとする。ただし、 $x_{1ij}$  = 教員勤務時間、 $x_{2ij}$  = 学校環境、 $x_{3ij}$  = 教員の志向、 $x_{4ij}$  = その他の属性、である。効用関数の特定には様々な形があるが、説明変数の多くがリッカート尺度による回答となっているため、本稿では線形の効用関数を仮定し、

$$U_{ij} = \alpha_{ij} + \beta_{1ij}x_{1ij} + \beta_{2ij}x_{2ij} + \beta_{3ij}x_{3ij} + \beta_{4ij}x_{4ij} + \varepsilon_{ij} \quad (1)$$

と定式化してOLSにより係数を推計する。ただし、 $\alpha_{ij}$ は $x$ によって説明できない個別の要因、 $\varepsilon_{ij}$ は誤差項、である。

## 2. 2. 説明変数

説明変数はすべて TALIS 2013 から得た。満足度に関わるとみられる要因を洗い出すため、説明変数を多めに選び出した。変数の説明と基本統計量は紙幅の都合上、付表に示す。

被説明変数は、以下に説明する満足度指数である。TALIS 2013 の教員向け質問紙では、仕事全般に対してどのように感じているかという設問のなかで「A：教員であることは、悪いことより、良いことの方が明らかに多い、B：もう一度仕事を選べるとしたら、また教員になりたい、C：可能なら、別の学校に異動したい、D：教員になったことを後悔している、E：現在の学校での仕事を楽んでいる、F：他の職業を選択した方が良かったのではないかとと思っている、G：自分の学校を良い職場だと人に勧めることができる、H：教職は社会的に高く評価されていると思う、I：現在の学校での自分の仕事の成果に満足している」の小項目を尋ねたのち、「J：全体としてみれば、この仕事に満足している」を尋ねており、いずれも回答者に「1：まったく当てはまらない」～「4：非常に良く当てはまる」の4段階の選択をさせている。総合的な主観的満足度は設問Jに示されているが、4段階の項目であり、それだけで総合満足度を計測するには粗すぎる。そこで、A～Hの9つの小項目から主成分分析<sup>14)</sup>を用いて1つの満足度指標を作成した。

主成分分析とは $z$ を主成分とし、 $x$ を観測される変数であるすると、

$$Z_j = a_{j1}X_1 + a_{j2}X_2$$

における主成分 $z$ の分散が最大になるように主成分負荷量 $a$ （ただし $a_{j1}$ と $a_{j2}$ の二乗和は1）を求めたものである。回転のない主成分分析の結果、表1の成分行列が求められた。表1の第一主成分は教員としての総合的満足度の強さ、第二主成分は現在勤めている学校への満足度もしくは職業として教員をしていることへの満足度という要素を示している（第二主成分が正であるC、E、G、Iは現在勤めている学校に対する設問であり、負であるA、B、D、F、Hは職種そのものに対する設問である）。以下では、回答者が満足度を表す第一主成分にどのくらい関係しているかを示す成分得点を総合的満足度の指数（満足度指数）として採用する<sup>15)</sup>。

満足度指数の順位は図1の通り、メキシコが最上位で日本は最下位となった。満足度指数の基本統計量と分布は図2の通りである。回答者全体の成分得点は、平均が0、標準偏差が100となるように調整されている。日本は全体平均からやや下くらいまでの層が厚く、両端が低くなっている。韓国でも中央の層が多く、0を含む-10～10の層が突出して多い。米国とスウェーデンは比較的形が似ているが、米国では満足度が高い層が厚い。メキシコはその層がさらに厚い。

表1 満足度小項目についての主成分分析による成分行列

	成分	
	1	2
B. もう一度仕事を選べるとしたら、また教員になりたい	0.758	-0.365
E. 現在の学校での仕事を楽んでいる	0.728	0.446
F. 他の職業を選択した方が良かったのではないかとと思っている（反転）	0.718	-0.355
D. 教員になったことを後悔している（反転）	0.697	-0.304
G. 自分の学校を良い職場だと人に勧めることができる	0.672	0.510
A. 教員であることは、悪いことより、良いことの方が明らかに多い	0.660	-0.333
I. 現在の学校での自分の仕事の成果に満足している	0.526	0.258
C. 可能なら、別の学校に異動したい（反転）	0.521	0.560
H. 教職は社会的に高く評価されていると思う	0.366	-0.358

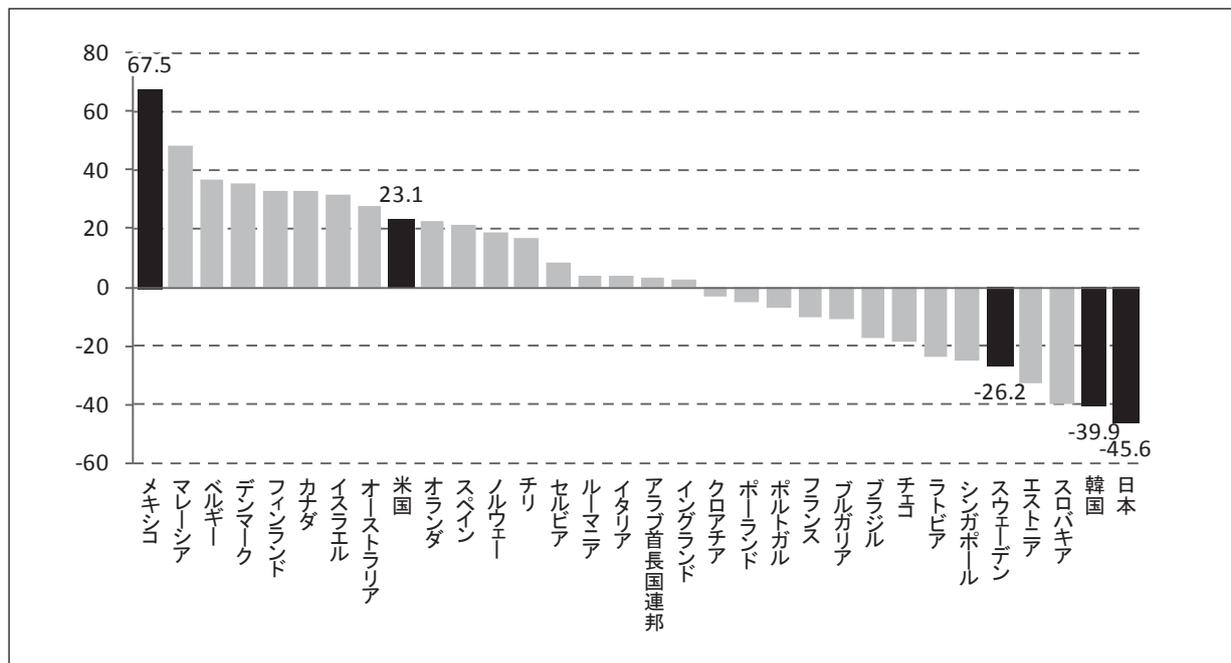


図1 TALIS参加国の満足度指数

注：黒い棒グラフは今回取り上げた国である。  
資料：TALIS 2013より筆者らが作成。

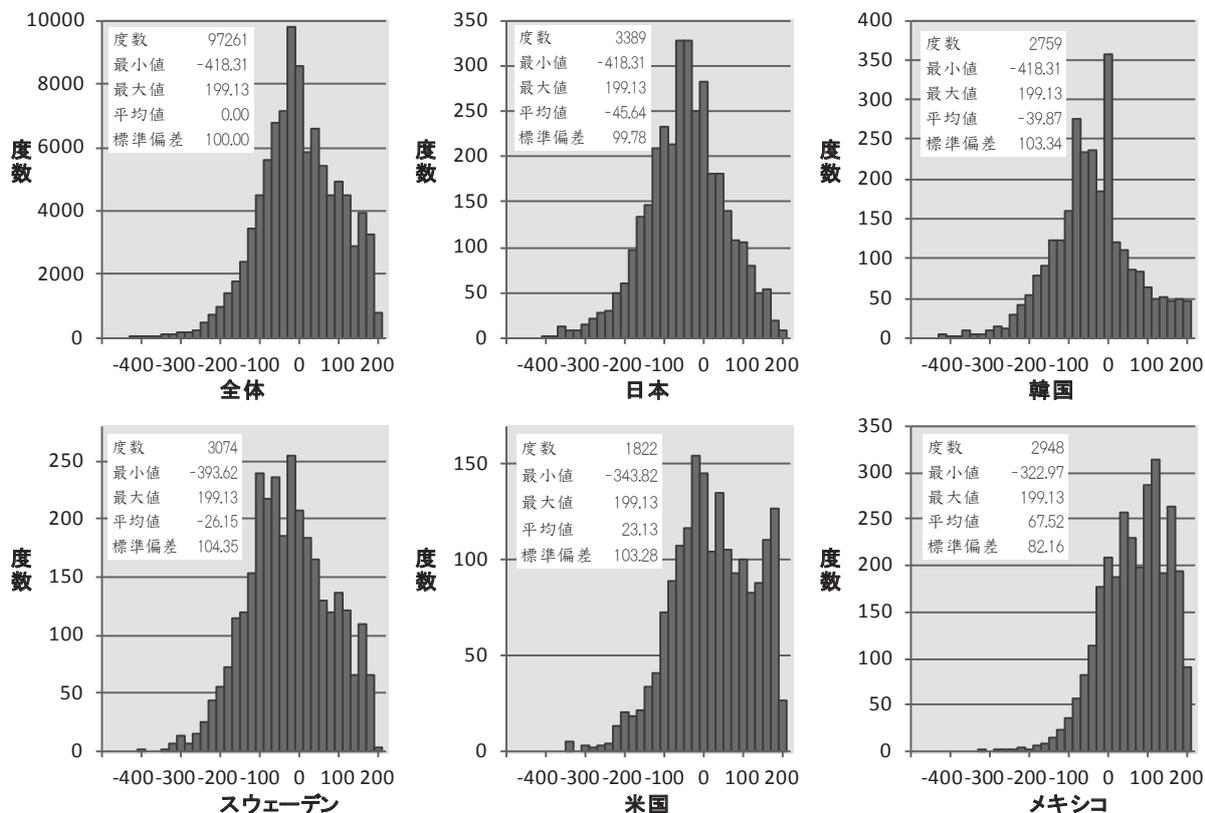


図2 全体および分析対象国の満足度指数分布

資料：TALIS 2013より筆者らが作成。

なお、満足度指数は表1における第一主成分についての成分得点から求めているが、第二主成分（勤務校に対する満足度か、教員という職業に対する満足度か、を示す成分）の成分得点からも国別の特徴が窺える。第二主成分における成分得点の国別平均値はメキシコと米国が正（順に65.3、10.8）で、両国の回答者は現在勤めている学校への満足度が高いと考えられる。日本、スウェーデンおよび韓国は負（順に-72.1、-63.8、-

16.4）であることから教員であることそのものの満足度が高く、特に日本・韓国では勤めている学校への満足度は低いものと考えられる（いずれも、絶対値が大きいほど、各要素が強い）。

### 3. 分析結果

前述（1）式に基づいたOLS分析の結果を表2に示す。「全体」は、全ての国を対象に掲示した全変数を説明変数としたモデル、「全体2」は、（1）

表2 推計結果

	全体	全体2	日本	韓国	スウェーデン	米国	メキシコ
男性	-9.703*** (0.000)	-9.645*** (0.000)	12.497*** (0.002)		-15.409*** (0.000)		
年齢	0.257*** (0.000)	0.253*** (0.000)	0.381** (0.044)		0.348* (0.067)	0.721*** (0.001)	
現在の雇用形態-常勤	-9.021*** (0.000)	-9.008*** (0.000)	-14.109*** (0.004)	-14.673*** (0.006)	-22.948*** (0.000)	10.308** (0.048)	10.166** (0.019)
担当科目(国語)	0.468 (0.551)				8.534* (0.052)		
担当科目(数学)	2.755*** (0.001)	2.691*** (0.001)				10.361** (0.042)	
担当科目(理科)	-6.135*** (0.000)	-6.109*** (0.000)			-18.793*** (0.002)	-18.856*** (0.001)	
担当科目(社会)	0.919 (0.280)		12.825** (0.016)				-10.584*** (0.009)
担当科目(外国語)	-2.608*** (0.004)	-2.633*** (0.003)					
担当科目(技術)	0.578 (0.575)		-15.018* (0.054)		17.427** (0.016)		
担当科目(音楽・美術)	-3.019*** (0.002)	-2.872*** (0.002)				12.175* (0.064)	
担当科目(保健体育)	4.219*** (0.000)	4.240*** (0.000)	22.371*** (0.000)	12.968*** (0.008)		20.205*** (0.006)	
学校での総仕事時間	-0.013 (0.566)		-0.322*** (0.004)				0.301*** (0.002)
授業の比率	15.888*** (0.004)	15.518*** (0.000)					-30.018*** (0.003)
授業計画・準備の比率	0.842 (0.896)						-82.752*** (0.000)
同僚との共同作業の比率	44.641*** (0.000)	44.518*** (0.000)		174.674*** (0.003)	100.427** (0.032)	153.482*** (0.003)	
採点・添削の比率	-15.349** (0.026)	-15.789*** (0.005)			-50.168* (0.080)		
生徒への教育相談の比率	31.277*** (0.001)	30.984*** (0.000)					
学校運営業務参画の比率	54.193*** (0.000)	55.101*** (0.000)	59.216** (0.030)				
一般事務業務	-34.630*** (0.000)	-35.088*** (0.000)		-48.810* (0.054)	-101.233*** (0.000)	-149.368*** (0.002)	
保護者との連絡や連携	54.030*** (0.000)	53.827*** (0.000)					
課外活動の指導	61.730*** (0.000)	60.729*** (0.000)			159.990** (0.042)	82.039*** (0.010)	
雰囲気-教職員意思決定参加	34.261*** (0.000)	34.266*** (0.000)	27.567*** (0.000)	39.820*** (0.000)	29.005*** (0.000)	38.894*** (0.000)	13.785*** (0.000)
雰囲気-生徒と教員の関係良好	42.045*** (0.000)	42.078*** (0.000)	62.194*** (0.000)	61.298*** (0.000)	31.348*** (0.000)	39.342*** (0.000)	34.216*** (0.000)
雰囲気-学校が生徒を支援	19.796*** (0.000)	19.816*** (0.000)	21.956*** (0.000)	10.029*** (0.004)	25.854*** (0.000)	20.449*** (0.000)	15.282*** (0.000)

	全 体	全体2	日 本	韓 国	スウェーデン	米 国	メキシコ
組織内指導者あり	8.618*** (0.000)	8.687*** (0.000)	10.157** (0.013)	20.899*** (0.000)	38.207*** (0.001)	20.496*** (0.006)	
人口-1万5千~10万人	-1.757 (0.287)						-28.208** (0.016)
人口-10~100万人	-1.423 (0.185)			-11.249** (0.011)			-20.389*** (0.000)
人口-100万人超え	-1.719* (0.090)				-14.418 (0.000)		-11.289 (0.044)
在学者数	0.001 (0.483)		-0.025 (0.000)			-0.033 (0.000)	0.020 (0.000)
生徒一人あたりの教員数	1.136 (0.676)		-134.617** (0.044)	-174.858** (0.050)	-95.505* (0.096)	-195.267** (0.034)	
特別支援生徒比率1_10	-1.189 (0.411)		15.290*** (0.005)		28.578*** (0.001)		-9.980** (0.044)
特別支援生徒比率10以上	-1.729 (0.352)				24.960** (0.019)		
困難家庭環境生徒比率	-0.281 (0.695)						
頻度-生徒の欠席	-0.289 (0.391)			-4.131** (0.032)	3.949** (0.037)		
頻度-カンニング	0.744 (0.255)				-8.708** (0.024)	10.568** (0.031)	
頻度-生徒の暴力・いじめ	-0.234 (0.808)		10.567** (0.011)				
頻度-ドラッグ・飲酒	0.127 (0.883)						
頻度-教員の欠勤	-0.914 (0.127)			15.113*** (0.001)			-7.075** (0.025)
学校と地域の連携	-0.732 (0.248)						6.846** (0.044)
妨げになる不足-教員	0.135 (0.463)						
妨げになる不足-IT関連	0.098 (0.583)		-2.001* (0.053)		-1.847* (0.095)		
必要性-担当教科	-0.416** (0.011)	-0.383** (0.018)			-3.932*** (0.000)		
必要性-ICT技能	1.242*** (0.008)	1.266*** (0.006)					
必要性-生徒の行動と学級経営	-10.975*** (0.000)	-10.907*** (0.000)			-10.687*** (0.000)	-11.962*** (0.000)	-11.021*** (0.000)
必要性-学校の管理運営	0.576 (0.175)						
必要性-個に応じた学習手法	2.025*** (0.000)	2.191*** (0.000)				-5.665* (0.085)	
必要性-特別支援生徒指導	-1.936*** (0.000)	-2.041*** (0.000)					
必要性-多文化・多言語指導	-0.665 (0.118)						
必要性-共通な力の指導	0.532 (0.328)						
必要性-職業能力指導	-1.620*** (0.002)	-1.521*** (0.002)					
必要性-職場の新技術	-1.110** (0.020)	-1.109** (0.019)	-7.712*** (0.005)				
必要性-生徒指導	3.718*** (0.000)	3.761*** (0.000)	12.717*** (0.000)			7.103** (0.011)	
信念-生徒自身の探究重視	9.985*** (0.000)	9.977*** (0.000)	17.091*** (0.000)	15.428*** (0.000)		10.433** (0.015)	7.723*** (0.004)
信念-思考・推論過程重視	1.201** (0.019)	1.212** (0.018)			8.355*** (0.004)	-8.289** (0.022)	
(定数)	-303.743*** (0.000)	-316.114*** (0.000)	-401.306*** (0.000)	-501.983*** (0.000)	-241.012*** (0.000)	-344.347*** (0.000)	-159.604*** (0.000)
国別ダミー	Y	Y	-	-	-	-	-
回答数	61,581	61,581	2,128	1,834	2,141	1,414	1,480
修正済み決定係数	0.298	0.298	0.249	0.304	0.228	0.281	0.251
F値	276.12	385.48	34.58	48.19	38.11	28.55	27.07

注：\*\*\*は1%、\*\*は5%、\*は10%水準で有意であることを示す。

と同じ変数をもとにステップワイズ法で変数選択したものである。情報量基準の判定により、どちらのモデルでも国ダミーを採用している。国別の推計はすべてステップワイズ法で変数選択を行っている。

各国に共通していたのは、主観的な学校環境の評価（教職員が意思決定に参加している、生徒と教員の関係が良好である、学校が生徒を支援している）が高いことが満足度を高める点である。地域を問わず、職場の雰囲気の良いが満足度を高めることが確認された。

教員の勤務時間が満足度に与える影響について、全調査国を対象としたモデルでは、学校で費やす時間が長いほど満足度が下がるという結果は有意ではなかった。勤務時間の中身を見ると、世界では授業時間、同僚との共同作業、生徒への教育相談、学校運営参画、保護者との連絡、課外活動指導の比率が高い方が満足度が高く、採点・添削時間と一般事務業務の比率が低い方が満足度が高くなることが分かった。一般的には、勤務時間の長短ではなく、業務内容が満足度を左右していることになる。「学校で費やす時間が長いほど満足度が下がる」傾向が鮮明に表れているのは、対象5か国の中では日本のみである。日本では勤務時間の中身についての評価は分散が大きく、有意に満足度を高める要因となったのは学校運営への参画だけであった。日本では勤務時間の長さが、

勤務内容にかかわらず満足度を下げる方向に働いているものとみられる。先行研究において指摘されている日本の教員の「働きがい」が存在していることは、表1の第二主成分から「教員としての満足度」が強く感じられていることから読み取れるが、長時間勤務が「働きがい」で補われることはなく、総合的な満足度がTALIS 2013調査対象国の中で最も低水準にとどまっているのである。

日本以外の4か国のうち、韓国、スウェーデン、アメリカでは勤務時間と満足度の間に明確な関係は見られなかったが、メキシコでは総仕事時間が長いほど満足度が高いという特徴がみられた。長いといっても、付表に示すように仕事時間の平均値は日本の約6割に過ぎない。また、全体の傾向とは逆に、授業や授業計画・準備の比率が低いほど満足度が高い。今回の調査では回答者個人に給与を聞いていないため、給与の変数を扱うことができなかったが<sup>16)</sup>、教員ランク別のデータをみると、メキシコでは初任給が低いものの最高給与は韓国に次いで高い（図3）。教員のランクが上がると授業時間数が減り満足度が高まる可能性が推察される。

その他、5か国中で日本のみにもみられた傾向は、男性の方が女性より満足度が高いこと、職場の新しい技術に対して、職能開発のニーズを感じていると満足度が低いことなどである。

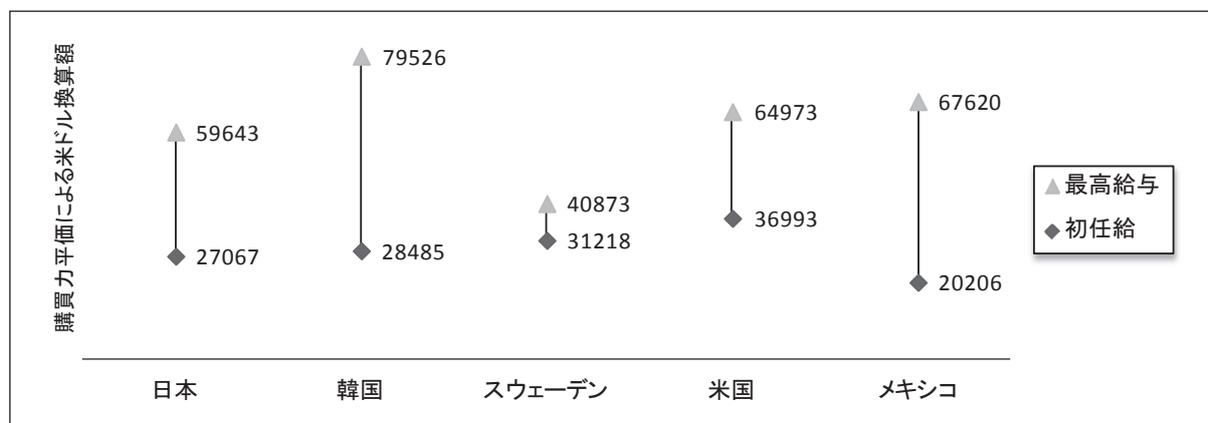


図3 国公立中学校教員の年間法定給与（2012年）

資料：OECD *Education at a Glance 2014*, Table D3.6. "Minimum and maximum teachers' statutory salaries" (2012) <http://dx.doi.org/10.1787/888933119815>.

#### 4. まとめと課題

本稿では、2013年のTALIS調査に日本が初めて加わったことを受けて、その結果をレビューするための分析を行った。OECD (2014) や国立教育政策研究所 (2014) では、教員の属性や勤務経験などが満足度に与える影響を分析しているが、テーマごとの分析になっており、満足度を包括的に捉えるために十分な変数を用いていない。本稿では勤務時間も含めてなるべく多くの要素を考慮した上で満足度に与える影響をみた。結果として、TALIS 2013 調査国全体では勤務時間の長さそのものよりも、勤務内容の構成比によって満足度が影響を受ける一方で、日本では勤務時間の長さが満足度をはっきり下げること、勤務内容では学校運営への参画以外では満足度を高める要因が見いだせないことが確認された。

TALIS 2013 は教員の個票データを提供しているが、質問紙に各教員の給与水準を尋ねる項目がないため、満足度に大きな影響を与えると思われる金銭的待遇の影響をみるできない。その意味で本稿では限られたデータしか用いていないが、入手しうるデータの範囲で新しい知見を得ることができたと言えよう。

今回は一部の国をピックアップする形で日本と比較したが、今後は分位点回帰をおこなうなどして、国別ではなく満足度の階層別に、満足度を与える影響を探ることを課題としたい。

#### 注

- 1) 文部科学省 (2007) や新潟教育研究所 (2012) など。
- 2) 栃木県教育委員会 (2009)。
- 3) 北海道教育委員会 (2009)。
- 4) OECD (2014)。
- 5) 東京大学 (2007)。  
同様の教員の勤務実態の大規模調査は文部省が1966年に実施した『教員勤務状況調査』であり、それ以降今回の調査まで教員の勤務実態の調査は行われていなかった。
- 6) 朝の業務、授業、学習指導、生徒指導 (集団・個別)、部活動・クラブ活動、児童会・生徒会指導、学校行事。
- 7) 授業準備、成績処理、学年・学級経営。
- 8) 学校経営、会議・打ち合わせ (校内、校外)、事務・

- 報告書作成、研修 (校内、校務)、その他の校務。
- 9) 保護者・PTA 対応、地域対応、行政・関係団体対応。
  - 10) 青木他 (2013)。
  - 11) 国際経済労働研究所によれば、働きがいを「ワーク・モチベーション (仕事動機づけ)」と位置付け、そのプロセスを「内発的働きがい」と「外発的働きがい」に区別している (<http://www.iewri.or.jp/cms/archives/2008/10/post-16.html> 参照)。
  - 12) 玉置他 (2012) p.36。
  - 13) 赤井他 (2013) p.203。
  - 14) 主成分分析の詳細については内田 (2013) などを参照されたい。
  - 15) 全体の満足度を聞いた設問Jの回答グループ (1~4) ごとに満足度指数の平均値を比較すると、 $1 < 2 < 3 < 4$  となる統計的有意差が確認されており、満足度指数は設問Jとも整合的である。
  - 16) 職業の満足度の決定要因として金銭的待遇は重要な要素である。TALISにおいて質問を設けるべきであろう。

#### 参考文献

- OECD (2014) *TALIS 2013 Results: An International Perspective on Teaching and Learning, TALIS*, OECD Publishing, Paris, France
- 青木栄一、神林寿幸 (2013) 「2006年度文部科学省「教員勤務実態調査」以後における教員の労働時間の変容」『東北大学大学院教育学研究科研究年報』第62集・第1号、pp.17-43
- 赤井 悟、生田周二、赤沢早人、柴本枝美 (2013) 「教師力の形成と成長についての調査研究—平成23年度奈良県優秀教職員へのヒアリングから—」『奈良教育大学教育実践開発研究センター研究紀要』第22号、pp.199-204
- 内田 治 (2013) 『主成分分析の基本と活用』日科技連出版社
- 国立教育政策研究所 (2014) 『教員環境の国際比較 OECD国際教員指導環境調査 (TALIS) 2013年調査結果報告書』明石書店
- 玉置千歳、高原龍二 (2012) 「「教員の働きがいに関する意識調査」報告書」『国際経済労働研究』67 (1)、pp.34-39
- 東京大学 (2007) 『平成18年文部科学省委託調査研究報告書 教員勤務実態調査 (小・中学校) 報告書』
- 栃木県教育委員会 (2009) 『子どもと向き合う時間の確保を目指して—「教員の多忙感に関するアンケート」分析より—』
- 新潟教育研究所 (2012) 『小中学校教員の勤務に関する意識及び実態調査—多忙化を解消し教育を充実させる—第4回教育調査報告書』

- ベネッセ教育総合研究所（2010）『第5回学習指導基本調査（小学校・中学校版）』
- 北海道教育委員会（2009）『教育職員の時間外勤務縮減のための取組事例集』（<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksi/torikumijireisyuu.htm>）  
2014年10月29日閲覧
- 文部科学省（2007）『今後の教員給与の在り方について（答申）』

付表 説明変数の基本統計量

変数名	TALIS2013 の変数名	設問	全データ		推計		日本		韓国		スウェーデン		米		メキシコ	
			度数	最小値 最大値	平均値 標準偏差	平均値 標準偏差	平均値 標準偏差	平均値 標準偏差	平均値 標準偏差	平均値 標準偏差	平均値 標準偏差	平均値 標準偏差	平均値 標準偏差	平均値 標準偏差		
被説明変数		【最後に、あなたが仕事全般についてどのように感じているかをお尋ねします。以下のことはどの程度当てはまりますか。A. 教員であることは、悪いことより、良いことの方が明らかに多い B. もう一度仕事を选べるとしたら、また教員になりたい C. 可能なら、別の学校に異動したい D. 教員になったことを後悔している E. 現在の学校での仕事を楽しんでる F. 他の職業を選択した方が良かったのではないかと思っている G. 自分の学校を良い職場だと人に勧めることができる H. 教職は社会的に高く評価されていると思う I. 現在の学校での自分の仕事の成果に満足している】指数	97261	-418.81 199.13	0.000 (100.00)	0.918 (99.76)	-42.759 (99.43)	-38.716 (104.63)	-26.405 (103.43)	23.311 (104.06)	65.811 (81.12)					
	満足度指数	TT2G46A ~ TT2G46I の 回答から抽出														
男性	TT2G01 より作成	男性=1 それ以外=0	104358	0	0.3195 (0.466)	0.316 (0.465)	0.614 (0.487)	0.294 (0.456)	0.333 (0.471)	0.328 (0.470)	0.480 (0.500)					
年齢	TT2G02	年齢(歳)	104269	18 76	42.512 (10.538)	41.908 (10.492)	41.451 (10.891)	42.040 (9.225)	45.355 (10.426)	41.587 (11.276)	40.885 (9.941)					
現在の雇用形態- 常勤	TT2G03 より作成	【あなたの教員としての現在の雇用形態は、以下のうちどれですか。現在複数の学校に勤務する場合には、それらの労働時間を合算してお答えください。】 常勤(常時勤務の90%以上の労働時間) = 1 それ以外 = 0	104358	0 1	0.8008 (0.399)	0.816 (0.388)	0.787 (0.410)	0.824 (0.381)	0.893 (0.309)	0.688 (0.463)	0.757 (0.429)					
担当科目(国語)	TT2G15A		104358	0	0.2773 (0.448)	0.284 (0.451)	0.166 (0.372)	0.392 (0.488)	0.314 (0.464)	0.386 (0.487)	0.296 (0.456)					
担当科目(数学)	TT2G15B		104358	0	0.1997 (0.400)	0.213 (0.410)	0.228 (0.420)	0.258 (0.438)	0.297 (0.457)	0.302 (0.459)	0.199 (0.399)					
担当科目(理科)	TT2G15C		104358	0	0.2064 (0.405)	0.218 (0.413)	0.149 (0.356)	0.249 (0.432)	0.229 (0.420)	0.207 (0.405)	0.247 (0.432)					
担当科目(社会)	TT2G15D		104358	0	0.1963 (0.397)	0.202 (0.401)	0.149 (0.356)	0.255 (0.436)	0.199 (0.399)	0.191 (0.393)	0.284 (0.451)					
担当科目(外国語)	TT2G15E	【今年度に、あなたは以下の教科等をこの中学校(又は中等教育学校前期課程)で教えましたか。】はい=1 それ以外=0	104358	0	0.1755 (0.380)	0.186 (0.389)	0.184 (0.388)	0.183 (0.387)	0.335 (0.472)	0.049 (0.215)	0.117 (0.322)					
担当科目(技術)	TT2G15G		104358	0	0.1212 (0.326)	0.132 (0.338)	0.063 (0.243)	0.189 (0.392)	0.148 (0.355)	0.189 (0.392)	0.209 (0.407)					
担当科目(音楽・ 美術)	TT2G15H		104358	0	0.1512 (0.358)	0.153 (0.360)	0.101 (0.302)	0.236 (0.425)	0.182 (0.386)	0.147 (0.354)	0.162 (0.369)					
担当科目(保健体 育)	TT2G15I		104358	0	0.1266 (0.332)	0.129 (0.335)	0.129 (0.336)	0.220 (0.414)	0.089 (0.284)	0.119 (0.324)	0.118 (0.323)					

変数名	TALS2013 の変数名	設 問	全データ			推計			日本			スウェーデン			米 国			メ キシ コ		
			度 数	最 小 値	最 大 値	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	
学校での総仕事時間	TT2G16	【直近の「通常の一週間」において、指導（授業）、授業準備、採点、他の教員との共同作業、職員会議への参加、その他あなたの学校で求められている仕事に、合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。「通常の一週間」とは、休暇や休日、病気休業などによって勤務時間が短くならなかった一週間のことを指します。週末や夜間など就業時間外に行った仕事を含みます。】時間	101499	0	112 (16.836)	39.230 (16.580)	38.440 (16.836)	0	112 (16.836)	39.230 (16.580)	54.610 (17.705)	37.630 (17.166)	42.920 (10.009)	44.720 (17.619)	33.280 (19.299)					
授業の比率	TT2G17/ 総仕事時間	【この合計のうち、直近の「通常の一週間」において、およそ何時間（1時間＝60分換算）指導（授業）しましたか。実際の指導（授業）時間のみを計算してください。】比率	79101	0.000	1.000 (0.165)	0.456 (0.163)	0.458 (0.165)	0.000	1.000 (0.165)	0.456 (0.163)	0.338 (0.135)	0.409 (0.149)	0.410 (0.113)	0.473 (0.167)	0.514 (0.189)					
授業計画・準備の比率	TT2G18A/ 総仕事時間	【直近の「通常の一週間」において、あなたは、以下の仕事に合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。 A. 学校内外で個人で行う授業の計画や準備】比率	79170	0.000	0.850 (0.090)	0.151 (0.089)	0.150 (0.090)	0.000	0.850 (0.090)	0.151 (0.089)	0.152 (0.101)	0.139 (0.083)	0.152 (0.078)	0.117 (0.075)	0.137 (0.084)					
同僚との共同作業の比率	TT2G18B/ 総仕事時間	【直近の「通常の一週間」において、あなたは、以下の仕事に合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。 B. 学校内での同僚との共同作業や話し合い】比率	79940	0.000	1.000 (0.045)	0.059 (0.045)	0.058 (0.045)	0.000	1.000 (0.045)	0.059 (0.045)	0.066 (0.050)	0.053 (0.035)	0.077 (0.042)	0.051 (0.044)	0.046 (0.052)					
採点・添削の比率	TT2G18C/ 総仕事時間	【直近の「通常の一週間」において、あなたは、以下の仕事に合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。 C. 生徒の課題の採点や添削】比率	79629	0.000	1.000 (0.077)	0.104 (0.076)	0.103 (0.077)	0.000	1.000 (0.077)	0.104 (0.076)	0.080 (0.064)	0.070 (0.056)	0.106 (0.070)	0.079 (0.058)	0.088 (0.066)					
生徒への教育相談の比率	TT2G18D/ 総仕事時間	【直近の「通常の一週間」において、あなたは、以下の仕事に合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。 D. 生徒に対する教育相談（生徒の監督指導、インターネットによるカウンセリング、進路指導、非行防止指導を含む）】比率	80857	0.000	0.890 (0.047)	0.042 (0.046)	0.041 (0.047)	0.000	0.890 (0.047)	0.042 (0.046)	0.044 (0.049)	0.071 (0.054)	0.058 (0.058)	0.051 (0.051)	0.047 (0.057)					
学校運営業務参画の比率	TT2G18E/ 総仕事時間	【直近の「通常の一週間」において、あなたは、以下の仕事に合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。 E. 学校運営業務への参画】比率	83519	0.000	0.890 (0.058)	0.026 (0.059)	0.025 (0.058)	0.000	0.890 (0.058)	0.026 (0.059)	0.047 (0.071)	0.036 (0.044)	0.015 (0.039)	0.022 (0.043)	0.022 (0.049)					
一般事務業務	TT2G18F/ 総仕事時間	【直近の「通常の一週間」において、あなたは、以下の仕事に合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。 F. 一般的事務業務（教員として行う連絡事務、書類作成その他の事務業務を含む）】比率	80620	0.000	1.000 (0.056)	0.056 (0.056)	0.054 (0.056)	0.000	1.000 (0.056)	0.056 (0.056)	0.088 (0.088)	0.105 (0.081)	0.098 (0.067)	0.052 (0.049)	0.038 (0.053)					
保護者との連絡や連携	TT2G18G/ 総仕事時間	【直近の「通常の一週間」において、あなたは、以下の仕事に合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。 G. 保護者との連絡や連携】比率	81114	0.000	0.810 (0.032)	0.029 (0.031)	0.029 (0.032)	0.000	0.810 (0.032)	0.029 (0.031)	0.021 (0.023)	0.034 (0.031)	0.039 (0.033)	0.025 (0.022)	0.041 (0.045)					
課外活動の指導	TT2G18H/ 総仕事時間	【直近の「通常の一週間」において、あなたは、以下の仕事に合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。 H. 課外活動の指導（例：放課後のスポーツ活動や文化活動）】比率	82016	0.000	1.000 (0.058)	0.039 (0.059)	0.038 (0.058)	0.000	1.000 (0.058)	0.039 (0.059)	0.123 (0.107)	0.043 (0.050)	0.008 (0.025)	0.046 (0.076)	0.036 (0.063)					

変数名	TALIS2013 の変数名	設問	全データ			推計			日本			韓国			スウェーデン			米国			メキシコ																
			度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差														
雰囲気-教職員意思決定参加	TT2G44A	【あなたの学校について、以下のことはどの程度当てはまりますか。 A. 通常、教員と生徒は互いに良好な関係にある】まったく当てはまらない=1 当てはまらない=2 当てはまる=3 非常に良く当てはまる=4	100087	1	28000	2800	2790	2610	2780	2700	2530	2790	2610	2780	2700	2530	2790	2610	2780	2700	2530	2790	2610	2780	2700	2530	(0.897)	(0.758)	(0.688)	(0.610)	(0.739)	(0.688)	(0.518)	(0.544)	(0.624)	(0.582)	(0.830)
(主観) 学校環境	TT2G45A	【あなたの学校について、以下のことはどの程度当てはまりますか。 A. 教職員が、学校の意思決定に積極的に参加する機会を提供している】まったく当てはまらない=1 当てはまらない=2 当てはまる=3 非常に良く当てはまる=4	100503	1	31800	3190	3110	3140	3410	3190	3110	3140	3140	3410	3190	3110	3140	3140	3410	3190	3110	3140	3140	3410	3190	3110	(0.624)	(0.544)	(0.518)	(0.490)	(0.490)	(0.518)	(0.544)	(0.624)	(0.582)	(0.830)	
雰囲気-学校が生徒を支援	TT2G45D	【あなたの学校について、以下のことはどの程度当てはまりますか。 D. 生徒が特別な援助を必要としている時、学校は支援している】まったく当てはまらない=1 当てはまらない=2 当てはまる=3 非常に良く当てはまる=4	100225	1	31800	3200	3160	2850	2920	3360	2820	3160	2850	2920	3360	2820	3160	2850	2920	3360	2820	3160	2850	2920	3360	2820	(0.830)	(0.582)	(0.749)	(0.658)	(0.658)	(0.749)	(0.582)	(0.658)	(0.582)	(0.830)	
組織内指導者あり	TT2G20Aより作成	【あなたは、現在、組織内指導(メンタリング)に参加していますか。ここでいう組織内指導は、あなたの学校の教員によって、又はあなたの学校の教員のために行われる組織内指導を指すものとします。教育実習中の学生のためのもは含みません。 A. 現在、自分を支援してくれる組織内指導者(メンター)がいる】はい=1 それ以外=0	104358	0	0.1423	0.1395	0.325	0.185	0.034	0.125	0.157	0.325	0.185	0.034	0.125	0.157	0.325	0.185	0.034	0.125	0.157	0.325	0.185	0.034	0.125	0.157	(0.364)	(0.330)	(0.180)	(0.388)	(0.388)	(0.180)	(0.330)	(0.364)	(0.330)	(0.180)	(0.388)
人口-1万5千~10万人	TC2G09	人口1万5,000人を超え、10万人以下の市町村=1 それ以外=0	97294	0	0.070	0.0561	0.032	0.037	0.030	0.044	0.028	0.032	0.037	0.030	0.044	0.028	0.032	0.037	0.030	0.044	0.028	0.032	0.037	0.030	0.044	0.028	(0.166)	(0.206)	(0.169)	(0.188)	(0.188)	(0.169)	(0.206)	(0.166)	(0.166)	(0.169)	(0.206)
人口-10~100万人	TC2G09	人口10万人を超え、100万人以下の市町村=1 それ以外=0	97294	0	0.3056	0.307	0.313	0.359	0.305	0.310	0.312	0.313	0.359	0.305	0.310	0.312	0.313	0.359	0.305	0.310	0.312	0.312	0.313	0.359	0.305	0.310	0.312	(0.463)	(0.463)	(0.461)	(0.480)	(0.480)	(0.461)	(0.463)	(0.463)	(0.463)	(0.463)
人口-100万人を超え	TC2G09	人口100万人を超える市町村(東京23区を含む)=1 それ以外=0	97294	0	0.4063	0.431	0.461	0.486	0.461	0.445	0.476	0.461	0.486	0.461	0.445	0.476	0.461	0.486	0.461	0.445	0.476	0.476	0.461	0.486	0.461	0.445	0.476	(0.500)	(0.497)	(0.499)	(0.500)	(0.499)	(0.497)	(0.500)	(0.500)	(0.497)	(0.500)
在学者数	TC2G14	現在の全学年の在学者数(人)	96508	0	816.8	806.5	808.8	840.2	808.7	720.1	845.9	808.8	840.2	808.7	720.1	845.9	808.8	840.2	808.7	720.1	845.9	845.9	808.8	840.2	808.7	720.1	845.9	(404.2)	(353.8)	(412.6)	(352.2)	(352.2)	(412.6)	(353.8)	(404.2)	(404.2)	(353.8)
生徒一人あたりの教員数	TC2G12A/TC2G14	TC2G12A: 教員数(生徒への指導を主たる業務とする者)/在学者数(比率)	95663	0.0034	0.0660	0.066	0.066	0.058	0.066	0.067	0.064	0.066	0.058	0.066	0.067	0.064	0.066	0.058	0.066	0.067	0.064	0.064	0.066	0.058	0.066	0.067	0.064	(0.032)	(0.036)	(0.036)	(0.024)	(0.024)	(0.036)	(0.036)	(0.032)	(0.032)	(0.036)
特別支援生徒比率	TC2G15B	【あなたの学校において、以下の特性を持つ生徒の割合を推定してください。なお、中等教育学校の場合は、前期課程(中学校段階)について、以下の特性を持つ生徒のおよその割合を推定してください。B. 特別な支援を要する生徒】1%~10%=1 それ以外=0	104358	0	0.789	0.850	0.859	0.865	0.859	0.866	0.832	0.859	0.865	0.859	0.866	0.832	0.859	0.865	0.859	0.866	0.832	0.832	0.859	0.865	0.859	0.866	0.832	(0.374)	(0.341)	(0.348)	(0.342)	(0.342)	(0.348)	(0.341)	(0.374)	(0.374)	

変数名	TALIS2013 の変数名	設 問	度 数	全データ		推 計		日 本		韓 国		スウェーデン		米 国		メキシコ	
				最小値	最大値	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
特別支援生徒比率 10以上	TC2G15B	【あなたの学校において、以下の特性を持つ生徒の割合を推定してください。なお、中等教育学校の場合は、前期課程(中学校段階)について、以下の特性を持つ生徒のおよその割合を推定してください。 B. 特別な支援を要する生徒】11%以上=1 それ以外=0	104358	0	0.0800 (0.271)	0.085 (0.279)	0.081 (0.272)	0.075 (0.263)	0.077 (0.267)	0.076 (0.265)	0.096 (0.294)						
学校環境 (客観指標)	TC2G15C	【あなたの学校において、以下の特性を持つ生徒の割合を推定してください。なお、中等教育学校の場合は、前期課程(中学校段階)について、以下の特性を持つ生徒のおよその割合を推定してください。 C. 社会経済的に困難な家庭環境にある生徒】 31%以上=1 それ以外=0	104358	0	0.4814 (0.500)	0.509 (0.500)	0.496 (0.500)	0.480 (0.500)	0.494 (0.500)	0.489 (0.500)	0.468 (0.499)						
頻度-生徒の欠席	TC2G32B	【あなたの学校では、以下のことがどのくらいの頻度で起こっていますか。あなたの学校の生徒によるもの：B. 欠席(正当な理由のない欠席)】なし=1 まれに=2 毎月=3 毎週=4 毎日=5	96018	1	2.6800 (1.133)	2.660 (1.123)	2.630 (1.110)	2.590 (1.069)	2.570 (1.076)	2.590 (1.128)	2.660 (1.154)						
頻度-カンニング	TC2G32C	【あなたの学校では、以下のことがどのくらいの頻度で起こっていますか。あなたの学校の生徒によるもの：C. カンニング】 なし=1 まれに=2 毎月=3 毎週=4 毎日=5	95730	1	1.8800 (0.703)	1.840 (0.633)	1.790 (0.519)	1.740 (0.475)	1.770 (0.530)	1.700 (0.490)	1.790 (0.533)						
頻度-生徒の暴力・いじめ	TC2G32D ~ TC2G32G の 和	【あなたの学校では、以下のことがどのくらいの頻度で起こっていますか。あなたの学校の生徒によるもの：D. 器物損壊 E. 生徒間の脅迫又は暴言(もしくは他の形態の非身体的いじめ)、F. 生徒間の暴力による身体的危害、G. 教職員への脅迫又は暴言】 なし=1 まれに=2 毎月=3 毎週=4 毎日=5	96185	1	1.9293 (0.541)	1.905 (0.507)	1.879 (0.461)	1.863 (0.412)	1.859 (0.458)	1.820 (0.425)	1.870 (0.491)						
頻度-ドラッグ・ 飲酒	TC2G32H	【あなたの学校では、以下のことがどのくらいの頻度で起こっていますか。あなたの学校の生徒によるもの：H. ドラッグの使用・所持や飲酒】なし=1 まれに=2 毎月=3 毎週=4 毎日=5	96128	1	1.2600 (0.580)	1.230 (0.517)	1.180 (0.450)	1.140 (0.345)	1.170 (0.424)	1.190 (0.389)	1.180 (0.478)						
頻度-教員の欠勤	TC2G32J	【あなたの学校では、以下のことがどのくらいの頻度で起こっていますか。あなたの学校の教員によるもの：I. 遅刻、J. 欠勤(正当な理由のない欠勤)】なし=1 まれに=2 毎月=3 毎週=4 毎日=5	95633	1	1.4700 (0.747)	1.410 (0.675)	1.330 (0.572)	1.310 (0.461)	1.330 (0.524)	1.330 (0.533)	1.350 (0.583)						
学校と地域の連携	TC2G30B	【あなたの学校では、以下のことがどの程度当てはまるとお考えですか。 B. 学校と地域コミュニティとの間で緊密な連携を図っている】 まったく当てはまらない=1 当てはまらない=2 当てはまる=3 非常に良く当てはまる=4	95820	1	3.0700 (0.567)	3.080 (0.557)	3.100 (0.540)	3.120 (0.529)	3.080 (0.540)	3.110 (0.516)	3.090 (0.543)						

変数名	TALIS2013 の変数名	設 問	全データ				推計				日本				韓国				スウェーデン				米 国				メ キシ コ			
			度 数	最 小 値	最 大 値	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差	平 均 値	標 準 偏 差			
学校環境 (校長の判断)	TALIS2013 の変数名	【あなたの学校では、現在、質の高い指導を行う上で、以下のことがどの程度妨げになっていますか。A. 資格を持つ教員や有能な教員の不足、B. 特別な支援を要する生徒への指導能力を持つ教員の不足、C. 職業教育を行う教員の不足】全く妨げになっていない=1 あまり妨げになっていない=2 いくらか妨げになっている=3 非常に妨げになっている=4	94700	3	6.9533 (1.983)	6.945 (1.948)	6.942 (1.879)	6.985 (1.933)	6.897 (1.831)	7.135 (1.904)	6.810 (1.932)	95863	3	5.315 (2.192)	5.209 (2.082)	4.959 (1.837)	5.095 (1.845)	4.956 (1.759)	5.078 (1.844)	5.002 (1.839)	98407	4	9.033 (3.164)	9.082 (3.152)	13.291 (1.994)	11.842 (3.043)	10.192 (2.874)	7.420 (2.618)	8.835 (2.745)	
妨げになる不足- 教員	TC2G31A ~ TC2G31C の 和	【あなたの学校では、現在、質の高い指導を行う上で、以下のことがどの程度妨げになっていますか。A. 資格を持つ教員や有能な教員の不足、B. 特別な支援を要する生徒への指導能力を持つ教員の不足、C. 職業教育を行う教員の不足】全く妨げになっていない=1 あまり妨げになっていない=2 いくらか妨げになっている=3 非常に妨げになっている=4	94700	3	6.9533 (1.983)	6.945 (1.948)	6.942 (1.879)	6.985 (1.933)	6.897 (1.831)	7.135 (1.904)	6.810 (1.932)	95863	3	5.315 (2.192)	5.209 (2.082)	4.959 (1.837)	5.095 (1.845)	4.956 (1.759)	5.078 (1.844)	5.002 (1.839)	98407	4	9.033 (3.164)	9.082 (3.152)	13.291 (1.994)	11.842 (3.043)	10.192 (2.874)	7.420 (2.618)	8.835 (2.745)	
必要性能	TT2G26A ~ TT2G26D の 和	【以下の各領域について、それぞれの程度、職能開発の必要性を感じていますか。 A. 担当教科等の分野に関する知識と理解、B. 担当教科等の分野の指導法に関する能力 C. カリキュラムに関する知識 D. 生徒の評価や評価方法】※	100171	1	2.6600 (0.950)	2.650 (0.946)	3.040 (0.714)	2.980 (0.791)	2.780 (0.972)	2.290 (0.883)	2.580 (0.972)	100070	4	2.4000 (0.974)	2.400 (0.968)	3.330 (0.665)	3.040 (0.837)	2.280 (0.909)	1.860 (0.847)	2.200 (0.885)	99235	1	2.0700 (1.015)	2.040 (1.004)	2.690 (0.780)	2.670 (0.902)	1.530 (0.788)	1.730 (0.858)	2.490 (0.944)	
必要性能-ICT技 能	TT2G26E	【以下の各領域について、それぞれの程度、職能開発の必要性を感じていますか。 E. 指導用の ICT (情報通信技術) 技能】※	100171	1	2.6600 (0.950)	2.650 (0.946)	3.040 (0.714)	2.980 (0.791)	2.780 (0.972)	2.290 (0.883)	2.580 (0.972)	100070	4	2.4000 (0.974)	2.400 (0.968)	3.330 (0.665)	3.040 (0.837)	2.280 (0.909)	1.860 (0.847)	2.200 (0.885)	99235	1	2.0700 (1.015)	2.040 (1.004)	2.690 (0.780)	2.670 (0.902)	1.530 (0.788)	1.730 (0.858)	2.490 (0.944)	
教員 のニーズと 志向	TT2G26F TT2G26G TT2G26H TT2G26I	【以下の各領域について、それぞれの程度、職能開発の必要性を感じていますか。 F. 生徒の行動と学級経営】※ 【以下の各領域について、それぞれの程度、職能開発の必要性を感じていますか。 G. 学校の管理運営】※ 【以下の各領域について、それぞれの程度、職能開発の必要性を感じていますか。 H. 個に応じた学習手法】※ 【以下の各領域について、それぞれの程度、職能開発の必要性を感じていますか。 I. 特別な支援を要する生徒への指導】※	99672	1	2.4600 (0.925)	2.470 (0.919)	3.290 (0.649)	2.970 (0.785)	2.510 (0.955)	2.160 (0.835)	2.550 (0.864)	99739	4	2.7100 (1.028)	2.670 (1.018)	3.250 (0.712)	3.170 (0.791)	2.680 (0.943)	2.210 (0.881)	3.140 (0.973)	99356	1	2.2600 (1.076)	2.210 (1.056)	2.570 (0.769)	2.690 (0.917)	2.130 (1.011)	1.960 (0.877)	2.860 (1.033)	
必要性能-特別支援 生徒指導	TT2G26J	【以下の各領域について、それぞれの程度、職能開発の必要性を感じていますか。 J. 多文化又は多言語環境における指導】※	99712	1	2.4400 (0.925)	2.440 (0.920)	3.230 (0.658)	2.980 (0.839)	2.430 (0.923)	2.130 (0.841)	2.510 (0.823)	99712	4	2.4400 (0.925)	2.440 (0.920)	3.230 (0.658)	2.980 (0.839)	2.430 (0.923)	2.130 (0.841)	3.140 (0.973)	99356	1	2.2600 (1.076)	2.210 (1.056)	2.570 (0.769)	2.690 (0.917)	2.130 (1.011)	1.960 (0.877)	2.860 (1.033)	
必要性能-多文化・ 多言語指導	TT2G26K	【以下の各領域について、それぞれの程度、職能開発の必要性を感じていますか。 K. 各教科で共通に必要な力に関する指導 (例: 問題解決能力、学び方の学習)】※	99712	1	2.4400 (0.925)	2.440 (0.920)	3.230 (0.658)	2.980 (0.839)	2.430 (0.923)	2.130 (0.841)	2.510 (0.823)	99712	4	2.4400 (0.925)	2.440 (0.920)	3.230 (0.658)	2.980 (0.839)	2.430 (0.923)	2.130 (0.841)	3.140 (0.973)	99356	1	2.2600 (1.076)	2.210 (1.056)	2.570 (0.769)	2.690 (0.917)	2.130 (1.011)	1.960 (0.877)	2.860 (1.033)	
必要性能-共通な力 の指導	TT2G26K	【以下の各領域について、それぞれの程度、職能開発の必要性を感じていますか。 K. 各教科で共通に必要な力に関する指導 (例: 問題解決能力、学び方の学習)】※	99712	1	2.4400 (0.925)	2.440 (0.920)	3.230 (0.658)	2.980 (0.839)	2.430 (0.923)	2.130 (0.841)	2.510 (0.823)	99712	4	2.4400 (0.925)	2.440 (0.920)	3.230 (0.658)	2.980 (0.839)	2.430 (0.923)	2.130 (0.841)	3.140 (0.973)	99356	1	2.2600 (1.076)	2.210 (1.056)	2.570 (0.769)	2.690 (0.917)	2.130 (1.011)	1.960 (0.877)	2.860 (1.033)	

変数名	TALIS2013 の変数名	設 問	全データ		推計		日本		韓国		スウェーデン		米 国		メキシコ	
			度 数	最 小 値	最 大 値	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値
必要性-職業能力 指導	TT2G26L	【以下の各領域について、それぞれの程度、職能開発の必要性を感じていますか。L. 将来の仕事や研究で生かせるよう、どの職業にも必要な能力を高める手法】※	99886	1	4	2.3200 (0.976)	2.290 (0.972)	2.920 (0.753)	2.930 (0.838)	2.050 (0.954)	2.090 (0.914)	2.700 (0.852)				
必要性-職場の新 技術	TT2G26M	【以下の各領域について、それぞれの程度、職能開発の必要性を感じていますか。M. 職場で使う新しいテクノロジー】※	100133	1	4	2.6300 (0.973)	2.590 (0.969)	2.810 (0.750)	2.770 (0.861)	2.480 (1.030)	2.540 (0.913)	2.830 (0.919)				
必要性-生徒指導	TT2G26N	【以下の各領域について、それぞれの程度、職能開発の必要性を感じていますか。N. 生徒への進路指導やカウンセリング】※	99764	1	4	2.3600 (1.021)	2.320 (1.011)	3.340 (0.655)	3.270 (0.770)	1.570 (0.773)	1.870 (0.877)	2.660 (0.915)				
信念-生徒自身の 探究重視	TT2G32A	【指導・学習に関するあなたの個人的な信念についてお尋ねします。以下のようなのは、どの程度当てはまりますか。A. 教員としての私の役割は、生徒自身の探究を促すことである】まったく当てはまらない=1 当てはまらない=2 当てはまる=3 非常に良く当てはまる=4	100730	1	4	3.2900 (0.620)	3.300 (0.614)	3.170 (0.534)	3.450 (0.562)	3.040 (0.700)	3.310 (0.583)	3.440 (0.677)				
信念-思考・推論 過程重視	TT2G32D	【指導・学習に関するあなたの個人的な信念についてお尋ねします。以下のようなのは、どの程度当てはまりますか。D. 特定のカリキュラムの内容よりも、思考と推論の過程の方が重要である】まったく当てはまらない=1 当てはまらない=2 当てはまる=3 非常に良く当てはまる=4	100235	1	4	3.0900 (0.703)	3.100 (0.695)	2.830 (0.640)	3.160 (0.689)	3.050 (0.673)	3.140 (0.677)	2.980 (0.815)				

注1：質問紙内に「特別な支援を要する生徒」とは、精神的、身体的又は情緒的に困難な条件にあることによって、特別な学習を行う必要性が公式に認定されている生徒を指すものとします。  
 (これらの生徒に対しては、多くの場合、その教育支援のために公的あるいは民間からの何らかの追加的な(人的、物的、財政的)資源が提供されています。)との定義が掲載されている。

注2：必要性の選択肢は まったくなし=1 あまりなし=2 ある程度=3 高い=4 である。(※で表示)